

# ヘルプの使い方

## オンラインヘルプの使い方

Adobe Acrobat Reader には、PDF 形式のオンラインヘルプが同梱されています。このオンラインヘルプから、Windows および Macintosh の両オペレーティングシステムに対応した Acrobat Reader のすべてのツール、コマンド、および機能に関する情報を参照することができます。PDF 形式では、オンライン上でのページ間の移動が簡単に行えます。また、Windows 間で互換性のある、サードパーティー製品のスクリーンリーダーで簡単に読み込むことができます。このファイルは、印刷可能であるため、手元においていつでも参照できます。

### オンラインヘルプを起動するには：

次のいずれかの操作を行います。

- ヘルプ / Reader のヘルプを選択します。
- F1 キーを押します。

Acrobat Reader のヘルプが新しい文書ウィンドウで起動し、「しおり」タブが表示されます。「しおり」タブが表示されていない場合は、ウィンドウ / しおりを選択するか、F5 キーを押します。しおりを使用したり、目次や索引のリンクを使用したり、文書内から目的の用語を検索したりすることにより、ヘルプ文書内を移動することができます。

### しおりの使用

Acrobat Reader のヘルプの内容は「しおり」タブに示されています。サブトピックを表示するには、そのトピックの隣のプラス記号 (Windows) または矢印 (Macintosh) をクリックします。トピックが展開され、サブトピックが表示されます。

各しおりは、ヘルプ文書の関連する節へのハイパーリンクになっています。内容を表示するには、表示したい内容のしおりをクリックします。右側のウィンドウに内容が表示されると、その内容と関連しているしおりが「しおり」タブ上でハイライト表示され、現在読んでいる箇所の文書の中での位置が簡単に確認できます。

ハイライト表示のオン / オフは、「しおり」タブのポップアップメニューから「現在のしおりを強調表示」を選択することにより切り替えることができます (Windows)。

### ナビゲーションバーの使用

Acrobat Reader ヘルプの各ページの上端と下端の両方にナビゲーションバーが付いています。ヘルプの使い方アイコンをクリックすると、ヘルプの使い方に関するガイドである本章にいつでも戻ることができます。目次を表示するには目次アイコンを、Acrobat Reader ヘルプの全索引を表示するには索引アイコンをクリックします。

ナビゲーションバーには、ページ番号の左右に移動先を示す矢印の形の次のページアイコン ▶ と前のページアイコン ◀ もあります。これらのボタンを使用すると、文書内を 1 ページずつ移動することができます。戻るをクリックすると、前回表示したページに移動します。また、ツールバーの最初のページ、前ページ、次ページ、最後のページの、それぞれ移動先を示す矢印ボタンを使用して文書内を移動することもできます。

**目次を使用してトピックを検索するには：**

- 1 任意のページで、上端または下端にあるナビゲーションバーの目次アイコンをクリックします。
- 2 目次ページに表示される一覧から任意のトピックを選択すると、そのトピックの最初のページが表示されます。
- 3 サブトピックの一覧を表示するには、「しおり」タブで、そのトピック名の隣のプラス記号をクリックします。

**索引を使用してトピックを検索するには：**

- 1 任意のページで、上端または下端にあるナビゲーションバーの索引アイコンをクリックします。
- 2 索引ページの一番上に表示される数字、アルファベット、カタカナから、該当する文字を選択します。「しおり」タブの「索引」の下に一覧表示される文字をクリックすることもできます。
- 3 目的のトピックが見つかったら、そのトピックの右側のページ番号をクリックすると、関連する主題が表示されます。
- 4 複数の項目をいくつか表示するには、戻るをクリックして、索引の同じ場所に戻ります。

**「検索」コマンドを使用してトピックを検索するには：**

- 1 編集／検索を選択します。
- 2 テキストボックスに文字または語句を入力し、「OK」をクリックします。
- 3 現在のページから文書の検索が実行され、検索文字または語句のうち、最初に出現するものが表示されます。
- 4 次の検索結果を表示するには、編集／次を検索を選択します。

**ヘルプファイルの印刷**

Acrobat Reader のヘルプは画面での閲覧用に調整されていますが、ファイルの全体または一部を印刷することができます。ファイルを印刷するには、ファイル／印刷（Windows）またはファイル／プリント（Macintosh）を選択するか、ツールバーのプリンタのアイコンをクリックします。

**その他のヘルプリソース**

ヘルプメニューからは、Acrobat Reader ヘルプの他にも、Acrobat Reader のバージョンに関する情報やプラグインに関する情報などのその他のヘルプリソースにアクセスできます。詳しくは、ヘルプメニューを参照してください。

## 目次

---

[ヘルプの使い方](#) 1

[Windows ショートカット](#) 31

[Macintosh ショートカット](#) 36

[索引](#) 41

[法律上の注意](#) 46

## Adobe Acrobat Reader について

Acrobat Reader を使用すると、Adobe Portable Document Format (PDF) 文書を簡単に、表示、閲覧、および印刷することができます。また、フォームに入力したり、ムービーを再生したり、PDF ファイル内を検索することもできます。

Adobe® Acrobat® Reader はアドビシステムズ株式会社の Web サイト (<http://www.adobe.co.jp>) から無償でダウンロードできます。

アドビシステムズ社の Web サイト (<http://www.adobe.com>) では、Adobe Sites ポップアップメニューで国名をクリックして表示する言語を選択できます。ただし、サイトに含まれる情報の詳細は言語によって異なります。

Acrobat Reader のコピーを作成し配付するには、次の情報をすべて含んでいる必要があります。

- アドビシステムズ社の Acrobat Reader インストーラ（改変することはできません）
- Acrobat Reader エレクトロニックエンドユーザ使用許諾契約書
- Acrobat Reader に含まれる著作権およびその他の所有権情報
- Acrobat Reader を含むすべてのメディアおよびパッケージに以下の情報を提示すること

「Acrobat® Reader Copyright © 1987-2001 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、および Adobe Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。」

Acrobat Reader エレクトロニックエンドユーザ使用許諾契約書および所有権情報は Acrobat Reader または Acrobat Reader インストーラアプリケーションに含まれています。Acrobat Reader ソフトウェアのインストーラを変更または作成することは固く禁じられています。Acrobat Reader 製品の使用許諾契約書について詳しくは、各製品のインストール中に表示される Acrobat Reader エレクトロニックエンドユーザ使用許諾契約書を参照してください。

Acrobat Reader の配布時に専用の Adobe Acrobat ロゴを使用することができます。詳しくは、アドビシステムズ株式会社の Web サイト ([www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp)) を参照してください。

## アクセシビリティ

アドビシステムズ社では、視覚障害や運動障害など身体に障害のある方のための、デジタル情報にアクセスしやすいツールやリソースを開発および提供しています。

## Acrobat Reader 5.0 のアクセシビリティ機能

現時点では、Windows プラットフォームの方がより強力なアクセシビリティ機能を提供できます。この章では、Acrobat Reader 5.0 のアクセシビリティ機能について説明します。

アクセス可能な PDF ファイルを作成するには、アクセシビリティに留意して文書を作成することが必要です。たとえば、PDF ファイルは構造化されている必要があります。不完全なツリー構造になっている場合、文書がスクリーンリーダーによって解析される際にエラーが発生します。

**重要：** どのようにしても読み込めない PDF ファイルがある場合、文書の作成者に問い合わせ、その文書を Adobe Acrobat Reader 5.0 で開けるよう再作成を依頼してください。

## Acrobat Reader 5.0 とスクリーンリーダーの使用

Macintosh には、スクリーンリーダー用の汎用アクセシビリティインタフェースがありません。したがって、MacOS 上では Acrobat Reader 5.0 によるスクリーンリーダーはサポートされていません。Windows プラットフォーム上では、Adobe Acrobat Reader 5.0 はいくつかのスクリーンリーダーアプリケーションに対応しています。スクリーンリーダーのインストール方法と Adobe Acrobat Reader 5.0 との使用法についての情報は、スクリーンリーダー付属のマニュアルを参照してください。スクリーンリーダーは、文書の論理構造に従って文書を読み込みます。文書の内容を 1 ページずつスクリーンリーダーに配信するか、文書全体を一度に配信するかはユーザー側で制御できます。アクセシビリティの設定について詳しくは、[7 ページの「アクセシビリティの設定」](#)を参照してください。

## Acrobat Reader 5.0 と Microsoft Internet Explorer の使用 (Windows のみ)

キーボードを使用して、Internet Explorer 内で Adobe Acrobat Reader 5.0 を制御することができます。Internet Explorer 内で Adobe PDF 文書を開く場合、通常、ナビゲーションとコマンド用のキーストロークを使用することができます。Tab キーを押すと、ブラウザから Acrobat Reader 文書ウィンドウにフォーカスが移動します。Tab キーをもう一度押すと、文書内の項目が選択されます。Shift + Tab キーを押すと、フォーカスが逆に移動します。フォーカスをブラウザに戻すには、Ctrl + Tab キーを押します。ブラウザ内では、Internet Explorer のキーストロークを使用してナビゲーションと選択を行います。

## メニューコマンドとナビゲーション用のショートカットキーの使用

ナビゲーション機能は、マウス操作だけでなく、キーボードを使用して制御することができます。フォーカス領域の変更、および、メニューやダイアログボックスの操作を実行できます。フォーカス領域は、インタフェイスの大きいセクションであり、論理的に閉じた領域として処理されます。フォーカス領域内で、より細かくナビゲーションを行うことができます。フォーカス領域はアウトラインで囲まれます。

ナビゲーションの動作の中には、他の Windows アプリケーションとは異なるものがあります。これは、Adobe Acrobat Reader で使用できる要素の種類に違いがあること、および以前のバージョンとの互換性を確実に維持することの両方によるものです。

**フォーカス領域を文書ウィンドウとナビゲーションパレットウィンドウ間で切り替えるには：**

Shift + F6 キーを押すと、文書ウィンドウとナビゲーションパレットウィンドウ間でフォーカスが移動します。

## メニューバーのキーストローク (Windows のみ)

Alt キーまたは F10 キーを押すと、メニューバーにアクセスできます。次に、矢印キーと Enter キーを使用して、メニューから項目を選択します。

## 文書ウィンドウのキーストローク

フォーカスが文書ウィンドウにある場合、以下のキーを押すことによりフォーカスの移動とコマンドの実行を行うことができます。

**Tab キー** カーソルが次の項目に移動します。

**Shift-Tab キー** 1 つ前の選択項目に戻ります。

**スペースバー** アクションを実行します。たとえば、フォーカスがハイパーリンク上にある場合、スペースバーを押すとそのリンクが開きます。

**Shift + F10 (Windows) または Option + F10 (Macintosh)** 選択項目と関連付けられているポップアップメニューが開きます。

### ツールバーのキーストローク (Windows のみ)

Alt キーを押してから Ctrl + Tab キーを押すと、ツールバーにアクセスできます。ツールバー内では、次のキーストロークにより、ツール、コマンド、メニュー間をフォーカスが移動します。

**Ctrl + Tab キー** ツールバーの次のセクションにフォーカスが移動します。たとえば、ファイルツールバーからナビゲーションツールバーに移動し、次に、表示の履歴ツールバーに移動します。

**Tab キー** ツールバーのアイテム間を移動します。ファイルツールバーがアクティブな場合、Tab キーを押すと、「開く」、「複製を保存」、「印刷」、「検索」、「ナビゲーションパレットの表示／非表示」の各ボタン間をフォーカスが移動します。

**矢印キー** 選択されているツールバーアイテムがあれば、矢印キーでもアイテム間を移動できます。下向き矢印キーを押すと、非表示になっているメニュー項目が表示されます。

**Enter キー** ツールまたはコマンドを選択します。

**Esc キー** メニューを終了します。

### ナビゲーションパレットウィンドウのキーストローク

Shift + F6 キーを押すと、ナビゲーションパレットウィンドウにフォーカスが移動します。それぞれのタブ付きパレットの中では、オブジェクト一覧がツリー構造になっています。Adobe Acrobat Reader 5.0 では、ツリー表示に対しては標準的な Windows ショートカットが採用されています。ナビゲーションパレットウィンドウにフォーカスがある場合、次のキーストロークによりフォーカスを移動することができます。

**Ctrl + Tab キー** タブ間を移動します。「しおり」と「サムネイル」のタブ間をフォーカスが移動します。

**Tab キー** 現在のタブ内で項目間を移動します。Tab キーを押すと、しおりの一覧でフォーカスが下に移動します。

**Shift + Tab キー** 現在のタブ内の 1 つ前の項目に戻ります。

**矢印キー** 現在のタブ内で、次の項目または前の項目に移動します。

**Enter キー** 選択項目を開きます。

**スペースバー** 選択項目を開きます。

### フローティングパレットへのアクセス (Windows のみ)

Alt + F6 キーを押すと、フォーカスがフローティングパレットに移動します。パレットを独立させていたり、カスタムパレットグループを作成している場合、フォーカスをこれらのパレットに移動することができます。パレット内で Tab キー、矢印キー、および Enter キーを使用して、アクションを選択し実行することができます。

### ダイアログボックスのキーストローク

フォーカスがダイアログボックス上にある場合、Tab キー、矢印キー、および Enter キーを使用してアクションを選択し実行することができます。ダイアログボックス別のコントロールへのショートカットについてはショートカットの一覧を参照してください。フォーカスがダイアログボックス内のすべての項目間を移動し終えたら、デフォルト項目に戻ります。フォーカスは、最初のグループボックスの位置から始まって上から下へ、左から右への順に移動します。

ショートカットの一覧については [31 ページの「Windows ショートカット」](#) と [36 ページの「Macintosh ショートカット」](#) を参照してください。

## アクセシビリティの設定

アクセシビリティの設定は視覚障害や運動障害など身体に障害のあるユーザのために設計されています。ハイコントラストのカラースキーム、カスタムテキスト、背景色、およびスクリーンリーダーのオプションを設定できます。一般的には、お使いのオペレーティングシステムで使用可能なシステムカラースキームを使用することをお勧めします。

### アクセシビリティを設定するには：

- 1 編集／環境設定／アクセシビリティを選択します。
- 2 「文書のカラー設定」セクションで、「カラーの表示を調整」から次のオプションを選択します。

**文書に色の指定がない場合** デフォルト値です。文書に色の指定がない場合に、カスタムスキームへの調整が行われます。

**常に文書の色を無視** 文書の色を常にカスタムスキームに変更します。

- 3 「カラースキーム」から次のオプションを選択します。

**文書で指定された色を使用** 文書の作成者が指定した色で文書が表示されます。

**カスタムスキームを使用** 色のサンプルボックスで選択した色で文書が表示されます。

**Windows の色を使用** システムカラーで文書が表示されます。(Windows のみ)

- 4 「カスタムスキーム」セクションで、カスタムスキームを指定します（「カスタムスキームを使用」を選択している場合のみ）。

- 「文字の色」の隣にあるカラーボタンをクリックして色のサンプルボックスを開き、ここから色を選択します。
- 「ページ背景色」の隣にあるカラーボタンをクリックして色のサンプルボックスを開き、ここから色を選択します。

「カスタムカラースキームの使用」を選択していれば、カスタムスキームメニューからカスタムカラーを選択して、独自のスキームで文書を表示することができます。カスタムカラースキームを使用した場合、影響を受けない部分も存在します。たとえば、線と画像の色は変わりません。

- 5 「内容の配信」オプションを選択します。(Windows のみ)

- 「文書が次の限度を超える場合ページのデータを配信」オプションをチェックし、値を入力します。

PDF 文書は、指定したページ数を超えた場合、スクリーンリーダーに 1 回に 1 ページずつ配信されます。このオプションをチェックしてこの値を 0 に設定すると、すべての PDF 文書が 1 回に 1 ページずつ配信されます。

- 「文書が次の限度を超える場合ページのデータを配信」オプションの選択を解除すると、常に PDF 文書全体がスクリーンリーダーに配信されます。

- 6 「OK」をクリックします。

## PDF 文書の開き方

PDF 文書を作成するときに、作成後の PDF 文書の開き方を設定できます。たとえば特定のページが開くようにしたり、開いたときの表示倍率を指定したり、しおりやサムネールが表示されるようにすることができます。

全画面表示で開くように設定されている文書を開くと、ツールバー、コマンドバー、メニューバー、およびウィンドウコントロールは表示されません。このような場合は、Escape キー（Esc キーで全画面表示を終了するように環境設定されている場合）を押すか、Ctrl + L キー（Windows）または Command + L キー（Macintosh）を押して全画面表示を終了します。全画面表示について詳しくは、[10 ページの「全画面表示で文書を読む」](#)を参照してください。

### PDF 文書を開くには：

次のいずれかを行います。

- 開くボタン  をクリックするか、ファイル／開くを選択します。開くダイアログボックスで、1 つまたは複数のファイル名を選択して「開く」をクリックします。PDF 文書には、通常、.pdf 拡張子が付いています。
- ファイルメニューで開きたい文書のファイル名を選択します。ファイルメニューには、最近開いた PDF 文書が 4 つ表示されます。
- PDF ファイルアイコンをダブルクリックします。

**注意：**Macintosh では、Windows で作成された PDF 文書のアイコンをダブルクリックしても開けない場合があります。このような場合は、Acrobat Reader でファイル／開くを選択して文書を開きます。一度「開く」コマンドを使用して開いた文書は、次からダブルクリックで開くことができます。

## PDF 文書の表示の調整

PDF 文書の表示倍率を変更したり、一度に 1 ページずつまたは連続ページを表示できるようにページレイアウトを設定することができます。

### 拡大表示と縮小表示

使用できる最小および最大表示倍率は、現在表示されているページのサイズによって異なります。

ウィンドウよりも大きなサイズにページを拡大している場合にページの内容を見るには、手のひらツール  を使用してページを動かします。手のひらツールを使用して PDF ページを動かすのは、机の上で紙を手で動かすのと似ています。

### 表示倍率を上げるには：

次のいずれかを行います。

- ズームインツール  を選択して、ページをクリックします。
- ズームインツールを選択し、拡大する範囲をドラッグします。ドラッグするに従って、選択範囲を示す点線のボックスが表示されます。
- 表示ツールバーで倍率ボックスの隣の三角矢印ボタンをクリックし、表示倍率を選択します。
- 表示ツールバーのズームインボタン  をクリックします。

**表示倍率を下げるには：**

次のいずれかを行います。

- ズームアウトツール  を選択して、ページをクリックします。
- ズームアウトツールを選択し、適切なページサイズを示す点線のボックスを描きます。
- 表示ツールバーで倍率ボックスの隣の三角矢印ボタンをクリックし、表示倍率を選択します。
- 表示ツールバーでズームアウトボタン  をクリックします。

**注意：**ズームインツールを選択しているときに、Ctrl キー (Windows) または Option キー (Macintosh) を押しながらクリックまたはドラッグすると、ズームアウトできます。逆に、ズームアウトツールを選択しているときに、Ctrl キー (Windows) または Option キー (Macintosh) を押しながらクリックまたはドラッグすると、ズームインできます。

**サムネールを使用して表示倍率を変更するには：**

- 1 ウィンドウ／サムネールを選択し、サムネールパレットを開きます。
- 2 枠が表示されているサムネールの赤い枠にある右下隅にポインタを置きます。ポインタが両方向矢印  に変わります。
- 3 枠の隅をドラッグして、ページを拡大または縮小表示します。

**ページをウィンドウに合わせて表示するには：**

次のいずれかを行います。

- ページ全体がウィンドウ内に収まるようにするには、全体表示ボタン  をクリックするか、表示／全体表示を選択します。
- ページの幅をウィンドウの幅に合わせて表示するには、幅に合わせるボタン  をクリックするか、表示／幅に合わせるを選択します。ただし、ページの一部が見えない場合があります。
- テキストとグラフィック領域をウィンドウの幅に合わせて表示するには、表示／描画領域の幅に合わせるを選択します。ただし、ページの一部が見えない場合があります。

**ページを実際の大きさに戻すには：**

実際の大きさボタン  をクリックするか、表示／実際の大きさをを選択します。通常、PDF ページでの実際の大きさの倍率は 100% ですが、PDF 文書の作成時に別の表示倍率に設定することができます。

**ページのレイアウトと向きの設定**

次の 3 種類のページレイアウトで PDF 文書を表示することができます。

- 単一ページレイアウトでは、一度に文書の 1 ページ分だけを表示します。
- 連続レイアウトでは、ページを縦に続けて表示します。

- 見開きページレイアウトでは、ページを横に並べて複数ページが 2 ページずつ見開きの状態で並んで表示されます。見開きページとして表示するため、3 ページ以上の文書の場合は、1 ページ目は右側に表示されます。



単一ページレイアウト、連続レイアウト、見開きページレイアウトの比較

単一ページレイアウトで表示しているときに、編集／すべてを選択を選択すると、現在表示されているページ内のすべてのテキストが選択されます。連続レイアウトと見開きページレイアウトでは、PDF 文書内のほとんどのテキストが選択されます。

#### ページレイアウトを設定するには：

次のいずれかを行います。

- 表示ツールバーの単一ページボタン、連続ボタン、見開きページボタンのいずれかをクリックします。
- 表示／単一ページ、連続ページ、見開きページのいずれかを選択します。



見開きページを見やすく表示するには、見開きページレイアウトを選択し、表示／幅に合わせるを選択します。

#### ページを回転させるには：

次のいずれかを行います。

- 表示ツールバーで、表示を右に回転ボタンまたは表示を左に回転ボタンをクリックします。
- 表示／右回転または表示／左回転を選択します。



回転ツールを使用すると、ページを 90 度ずつ回転することができます。

## 全画面表示で文書を読む

全画面表示では、画面全体に PDF ページが表示されます。したがって、メニューバー、コマンドバー、ツールバー、ステータスバー、およびウィンドウコントロールは表示されません。PDF 文書を作成するときに全画面表示で開くように設定したり、ユーザが自分自身で全画面表示に設定することができます。全画面表示はプレゼンテーションでよく使用されます。その場合、自動ページ送りやページの移動機能を同時に使用することもあります。

全画面表示でもポインタはアクティブなので、リンクをクリックしてノートを開くことができます。メニューやツールバーが表示されていない場合でも、ショートカットキーを使用して別のページに移動したり倍率を変えたりすることができます。また、環境設定を設定して、システム上でどのように全画面表示するかを指定することもできます。

#### 文書を全画面表示するには：

表示／全画面表示を選択します。次のページに進むには、文書中で Enter キー (Windows) または Return キー (Macintosh)、下矢印キー、または右矢印キーを押します。前のページに戻るには、文書中で Shift + Enter キー (Windows) または Shift + Return キー (Macintosh)、上矢印キー、または左矢印キーを押します。

**注意：**Windows 98、Windows 2000、Windows Me または Macintosh で 2 つのモニタを使用している場合、ページが全画面表示されるのは 1 つの画面だけです。ページを切り替えるには、全画面表示モードで表示されている方の画面でページをクリックします。

#### 全画面表示を終了するには：

編集／環境設定／全画面表示で「Esc キーで取り消し」が設定されている場合は、Esc キーを押します。そうでない場合は、Ctrl + L キー（Windows）または Command + L キー（Macintosh）を押します。

#### 全画面表示の環境設定を設定するには：

- 1 編集／環境設定／全画面表示を選択します。
- 2 次の全画面表示の切り替え方法を選択します。
  - ・「表示ページを切り替える間隔」では、表示されるページを自動的に切り替える間隔を秒単位で指定します。自動切り替えを選択していても、マウスやキーボードを使用して手動で表示ページを切り替えることができます。
  - ・「クリックで次のページを表示」では、マウスで PDF 文書をクリックして、表示ページを切り替えることができます。このオプションを選択していない場合、次のページを表示するには Enter キー、前のページに戻るには Shift + Enter キーを使用するか、または矢印キーを押して表示ページを切り替えます。
  - ・「最初のページへ戻る」では、PDF 文書のページが連続して表示され、最後のページまで表示された後にページを切り替えると最初のページに戻ります。このオプションは、広告の表示によく使用されます。
  - ・「Esc キーで取り消し」では、Esc キーを押すことにより全画面表示を終了させることができます。このオプションを選択していない場合は、Ctrl + L キー（Windows）または Command + L キー（Macintosh）を押して全画面表示を終了します。
- 3 次の全画面表示オプションを選択します。
  - ・「デフォルトの効果」で全画面表示に切り替えたときの表示効果を指定します。
  - ・「マウスのカーソル」で全画面表示でカーソルを表示するかどうかを指定します。
  - ・「背景色」で、ウィンドウの背景色を選択します。「カスタム」を選択すると、システムカラーパレットが表示されます。カスタムカラーの設定方法については、お使いのコンピュータのユーザガイドを参照してください。
  - ・「モニタ」（Windows 98、Windows 2000、Windows Me または Mac OS）では、2 つのモニタを接続している場合に、全画面表示するモニタを選択します。「メイン」（メニューバーのあるモニタ）、「ドキュメントの表示領域が最大」（文書の最大部分を表示しているモニタ）、「表示色が最大」（表示色数が大きい方のモニタ）、「水平解像度が最大」（水平解像度が大きい方のモニタ）、「垂直解像度が最大」（垂直解像度が大きい方のモニタ）、または「ピクセル数が最大の領域」（ピクセル数が大きい方のモニタ）を選択できます。
- 4 「OK」をクリックします。

## PDF 文書の閲覧

PDF 文書のページを切り替えたり、文書構造を示す機能を使用して PDF 文書内を移動することができます。また、文書内で今までに表示したページを開始位置まで逆にたどっていくこともできます。

## ページの切り替え

Acrobat Reader には、PDF 文書の表示ページを切り替えるためのボタン、ショートカットキー、およびメニューコマンドがあります。

**注意：**キーボードの数字パッドのキーを使用する場合は、Num Lock がオフになっていることを必ず確認してください。

### 別のページに移動するには：

次のいずれかを行います。

- 次のページに移動するには、ナビゲーションツールバーまたはステータスバーの次ページボタン▶をクリックするか、右矢印キーを押すか、Ctrl キー (Windows) または Option キー (Macintosh) を押しながら下矢印キーを押すか、または文書 / 次ページを選択します。
- 前のページに移動するには、ナビゲーションツールバーまたはステータスバーの前ページボタン◀をクリックするか、左矢印キーを押すか、Ctrl キー (Windows) または Option キー (Macintosh) を押しながら上矢印キーを押すか、または文書 / 前ページを選択します。
- 1 行下に移動するには、下矢印キーを押します。
- 1 行上に移動するには、上矢印キーを押します。

**注意：**上矢印キーまたは下矢印キーを押すと、多くの表示方法では、一度に 1 行ずつ移動します。全体表示や、ページの全体が表示されていない単一ページレイアウトでは、一度に 1 ページずつ移動します。

- 1 画面だけ下に移動するには、Page Down キーまたは Enter キー (Windows) または Return キー (Macintosh) を押します。
- 1 画面だけ上に移動するには、Page Up キーまたは Shift + Enter キー (Windows) または Shift + Return キー (Macintosh) を押します。
- 最初のページに移動するには、ナビゲーションツールバーまたはステータスバーの最初のページボタン|◀をクリックするか、Home キーを押すか、または文書 / 開始ページを選択します。
- 最後のページに移動するには、ナビゲーションツールバーまたはステータスバーの最後のページボタン▶|をクリックするか、End キーを押すか、または文書 / 最終ページを選択します。

### ページ番号を指定して移動するには：

次のいずれかを行います。

- 見たいページのページ番号が表示されるまで、ウィンドウの横にある垂直方向のスクロールバーをドラッグします。
- ステータスバーで現在のページ番号を選択し、移動先のページ番号を入力し Return キーを押します。
- 文書 / ページ指定を選択し、ページ番号を入力し「OK」をクリックします。

**注意：**編集 / 環境設定 / オプションで、「ページ番号を使用」オプションを選択している場合、文書のページ番号と PDF ファイルのページ番号が違っていると、ページの通し番号が括弧で囲まれてステータスバーに表示されます。たとえば最初のページに「iii」という番号が付いている場合は、「iii (1 / 10)」と表示されます。括弧の中をダブルクリックしてページ番号を変更し Enter キー (Windows) または Return キー (Macintosh) を押すと、指定したページに移動します。

## 文書構造を示す機能の使用

Acrobat Reader には、PDF 文書内の特定の場所に移動できるように、次のような文書構造を示す機能が搭載されています。

- しおりは通常、文書内の章、節などの構成を表し本の目次と似ています。
- サムネールとは、文書の各ページにある小さなプレビューです。サムネールを使用して、ページを動かしたり、ページの表示を変更したり、別のページに移動したりできます。サムネールに表示されている枠は、文書ウィンドウに現在表示されている範囲を示します。
- リンクは別のユーザ（通常は文書の作成者）が定義した特定の場所に移動するために使用します。リンク先は現在の文書内の場合も、別のファイルや Web サイトの場合もあります。通常リンクは、タイトルの付いた節や見出しなどに設定されています。
- アーティクルは、文書内の関連する内容を繋げる経路（スレッド）です。アーティクルは、通常、新聞や雑誌のように、あるページから別のページへと続いています。アーティクルを読むときには、Acrobat Reader によって自動的に表示が拡大または縮小され、アーティクルの現在の部分が画面全体に表示されます。

### しおりを使用して PDF 文書内を移動するには：

- 1 しおりパレットを表示します。しおりパレットを表示するには、ウィンドウ／しおりを表示を選択するか、「しおり」タブをクリックして一番手前に表示します。
- 2 しおりに示されている項目に移動するには、しおりパレット上のしおりアイコンまたはテキストをクリックします。

**注意：**しおりをクリックすると、別の場所に移動せずに、ムービーの再生などの他の動作が実行される場合があります。どのような動作が実行されるかはしおりの定義方法によって異なります。

現在文書ウィンドウに表示されている部分を示すしおりは、ハイライト表示されます。

しおりをクリックするとナビゲーションパレットウィンドウが見えなくなる場合は、文書の作成者によって「ジャンプ後に閉じる」コマンドが選択されています。ナビゲーションパレットウィンドウをもう一度表示するには、コマンドバーのナビゲーションパレットウィンドウの表示／非表示ボタンをクリックします。しおりをクリックした後も、ナビゲーションパレットウィンドウを開いたままにする場合は、ナビゲーションパレットウィンドウのメニューにある「ジャンプ後に閉じる」の選択を解除します。

しおりを別のしおりの下の階層に入れることができます。この場合、上のレベルのしおりが親で、下のレベルのしおりが子になります。パレット内の親しおりを閉じると、その下にある子しおりをすべて非表示にできます。閉じている親しおりの横には、プラス記号 (Windows) または右向き三角矢印 (Macintosh) が表示されます。クリックする対象のしおりの親が閉じているため非表示になっている場合、このプラス記号または三角形矢印をクリックすると、親しおりが開いて子しおりが表示されます。

 文書ウィンドウに表示されている部分を示すしおりを選択するには、しおりパレットメニューから「現在のしおりを展開」を選択するか、「しおり」パレットの上側にある現在のしおりを展開ボタン  をクリックします。この場合、親しおりが閉じていて子しおりが表示されていなくても、親しおりが開くので、選択した子しおりを確認できます。

### サムネールを使用して PDF 文書を参照するには：

- 1 サムネールパレットを表示します。サムネールパレットを開くには、ウィンドウ／サムネールを選択するか、「サムネール」タブをクリックして、パレットを一番手前に表示します。
- 2 次のいずれかを行います。

- 別のページに移動するには、移動先のページのサムネールをクリックします。
- 現在のページで別の部分を表示するには、ページのサムネールに表示されている枠にポインタを置きます。その後ポインタが手のひらツールに変わったら、この枠をドラッグして表示範囲を動かします。

#### リンクを使用して移動するには：

- 1 手のひらツール、ズームツール、テキスト選択ツールのいずれかを選択します。
- 2 ページ内のリンクのある場所にポインタを置くと、ポインタが人差し指の形に変わります（リンク先が Web 上の場合は、手にプラス記号が付きます）。リンクをクリックします。

**注意：**リンクをクリックすると、別の場所に移動せずにムービーの再生などの他の動作が実行される場合があります。どのような動作が実行されるかは、リンクの定義方法によって異なります。

#### アートを読むには：

- 1 次のいずれかを行います。
  - アートパレットを表示します。アートパレットを開くには、ウィンドウ／アートをを選択します。アートを最初から読み始めるには、パレットでアートのアイコンをダブルクリックします。
  - 手のひらツールを選択します。アートで読み始める部分をクリックします。または、最初から読み始めるアートで、Ctrl キー（Windows）または Option キー（Macintosh）を押しながら、アート内のどこかをクリックします。
- 2 ポインタがアートをたどるポインタに変わります。次のいずれかを行って、表示するアートを切り替えます。
  - アートの次のページに移動するには、Enter キー（Windows）または Return キー（Macintosh）を押すか、クリックします。
  - 前のページに移動するには、Shift + Enter キー（Windows）または Shift + Return キー（Macintosh）を押すか、Shift キーを押しながらクリックします。
  - アートの最初のページに移動するには、Ctrl キー（Windows）または Option キー（Macintosh）を押しながらクリックします。
  - アートを読むのを中止するには、Shift + Ctrl キー（Windows）または Shift + Option キー（Macintosh）を押しながらクリックします。
- 3 アートの最後にくると、ポインタがアート終了ポインタに変わります。アートを最初から読み始める前の画面に戻るには、Enter キー（Windows）または Return キー（Macintosh）を押すか、クリックします。

#### 今まで表示した画面を逆戻りする

表示ページを切り替えたり、文書の構造を利用して文書内を移動した後に、それまで見てきた画面を逆にたどり、最初に表示した画面に戻ることができます。Acrobat Reader では最高で 64 回まで、外部ブラウザのウィンドウでは 32 回まで逆戻りすることができます。

#### 今まで表示した画面を逆戻りするには：

次のいずれかを行います。

- PDF 文書内で表示画面を逆戻りするには、ナビゲーションツールバーで前の画面ボタン  をクリックするか、文書／前ページを選択して、表示画面を 1 つずつ逆戻りします。または、次の画面ボタン  をクリックするか、文書／次ページを選択して、1 画面ずつ前に進めます。
- 他の PDF 文書に戻るには、文書／前の文書に移動を選択して 1 文書ずつ前に戻るか、文書／次の文書に移動を選択して 1 文書ずつ進みます。または Shift キーを押しながら、戻るボタンまたは進むボタンをクリックします。戻りたい PDF 文書が閉じていても、このコマンドでその PDF 文書が開きます。

## Web 上での PDF 文書の表示

Web ブラウザを使用して、Web サイトやイントラネット上の PDF 文書を表示させることができます。Web 上のすべての文書は、Uniform Resource Locator (URL) という固有のアドレスで識別されます。PDF 文書が Web 上に保存されている場合は、その文書への URL リンクをクリックすれば、Web ブラウザで文書を開くことができます。

### Web ブラウザでの PDF 文書の読み取り

PDF 文書は、Netscape Navigator 4.0 以降または Internet Explorer 4.5 以降と互換性のある Web ブラウザで表示できます。必要となるプラグインは、Acrobat Reader をインストールすると自動的にインストールされます。ブラウザの設定方法については、[16 ページの「Web ブラウザプラグインのインストール」](#) を参照してください。

PDF 文書 を Web ブラウザに表示させると、Acrobat Reader のツールがすべてブラウザで使えるようになります。

**注意：**キー入力によって実行するコマンドの多くは、Acrobat Reader ではなく Web ブラウザに割り当てられています。そのため、Acrobat Reader のショートカットキーの中には、ブラウザのウィンドウからは実行できないものもあります。

### Web ブラウザでの検索

Web のサーチエンジンによっては、Web サーバ上の HTML 文書と同じように PDF 文書を表示するものもあります。サーチエンジンの中には、検索した PDF をハイライトするものもあります (PDF に対応したサーチエンジンすべてが、検索結果のハイライト表示に対応しているわけではありません)。

PDF 文書対応のサーチエンジンを使用している Web サイトを利用すると、検索結果に PDF 文書が含まれる場合があります。PDF 検索結果のハイライト表示に対応している検索エンジンを使用している Web サイトでは、検索結果一覧から任意の PDF 文書を開くと、お使いの Web ブラウザで、Acrobat Reader コマンドバーの次のハイライト表示に移動ボタン  と前のハイライト表示に移動ボタン  がアクティブになります。検索語句も、文書内でハイライトされます。

次の検索結果へ移動するには、次のハイライト表示に移動ボタンをクリックします。前の検索結果へ移動するには、前のハイライト表示に移動ボタンをクリックします。この 2 つのコマンドを使用して PDF 文書間を移動できますが、HTML 文書間の移動はできません。

## Web 表示用の最適化

Web 表示用に最適化を指定すると、PDF 文書の全体ではなく、その PDF 文書の中でユーザが要求したページに関する情報だけが、Web サーバから送信されます。PDF 文書の読み手は何も行う必要はありません。Acrobat Reader と Web サーバ間でバックグラウンド処理されます。要求した情報の最初のページを表示している間に PDF 文書全体のダウンロードをバックグラウンドで継続したい場合は、編集／環境設定／オプションの「Web ブラウザ オプション」セクションにある「バックグラウンドのダウンロードを許可」が選択されていることを確認します。詳しくは、[18 ページの「Acrobat Reader の環境設定」](#)を参照してください。

## Acrobat Reader をヘルパーアプリケーションとして設定する方法

お使いの Web ブラウザがブラウザでの PDF 文書表示に対応していない場合や、Web ブラウザでは PDF 文書を表示したくないという場合は、ブラウザの環境設定で、Acrobat Reader をヘルパーアプリケーションとして設定できます。この設定を行ってから、Web 上で PDF 文書を表示すると、Acrobat Reader が起動して文書を表示します。Acrobat Reader をヘルパーアプリケーションとして動作させると、Web 表示用に最適化オプション、ブラウザ内でのフォーム送信、または Web 上での検索結果のハイライト表示が使えなくなります。環境設定のオプションを使用して、Web 上のすべての PDF 文書が新しい Acrobat Reader ウィンドウで開かれるように設定することができます。

お使いの Web ブラウザに PDF ファイルを認識させるには、MIME タイプとファイルタイプを定義してください。ファイルタイプは pdf にします。MIME タイプは application/pdf にします。設定方法については、お使いのブラウザのマニュアルを参照してください。この設定方法は、特に Netscape 6.0 を使用する際に重要になります。

Netscape Navigator 4.0 以降のブラウザで、Acrobat Reader をヘルパーアプリケーションとして使用したい場合は、Netscape プラグインフォルダで PDFViewer プラグインの名前を変更するか、PDFViewer を削除します。プラグインファイルの名称は、nppdf32.dll (Windows) または PDFViewer (Macintosh) です。

### Windows で Acrobat Reader をヘルパーアプリケーションとして使用するには：

- 1 編集／環境設定／オプションを選択します。
- 2 「PDF をブラウザに表示」の選択を解除し、「OK」をクリックします。

**注意：**この操作は、Macintosh では不要です。

## Web ブラウザプラグインのインストール

Netscape Navigator 互換のブラウザで PDF を表示するには、nppdf32.dll (Windows) または PDFViewer プラグイン (Macintosh) が必要です。システムに Netscape Navigator がインストールされている場合は、Acrobat Reader のインストール時に、このプラグインも自動的にインストールされます。Acrobat Reader をインストールした後に Netscape Navigator をインストールする場合や、Netscape Navigator 互換のブラウザを使用している場合は、自分でプラグインをインストールできます。

### Web ブラウザのプラグインをインストールするには：

- 1 インストールされた Acrobat Reader アプリケーションフォルダ内の、Browser フォルダ (Windows) または Web Browser Plug-in フォルダ (Macintosh) を開きます。
- 2 nppdf32.dll (Windows) または PDFViewer プラグイン (Macintosh) を、お使いの Web ブラウザのプラグインフォルダにコピーします。

## PDF 文書の印刷

Acrobat Reader の印刷ダイアログボックスを使用して文書全体を印刷したり、または印刷ダイアログボックスを開く前に、ページ範囲、連続していないページ、または特定のページ領域を印刷するように指定できます。

### PDF 文書を印刷するには：

- 1 文書全体を印刷する必要がない場合は、次のいずれかを行います。
  - 印刷するページを選択するには、サムネールパレットで印刷したいページのサムネールをクリックします。連続していない複数のページを選択するには、Ctrl キー (Windows) または Command キー (Macintosh) を押しながらサムネールをクリックします。連続したページ範囲は、印刷ダイアログボックスで選択することもできます。
  - ページ内で印刷したい範囲を指定するには、グラフィック選択ツール  を選択し、ページ上をドラッグして印刷したい範囲を囲みます。
- 2 一般的な印刷オプションを設定するには、ファイル／ページ設定 (Windows) またはファイル／用紙設定 (Macintosh) を選択します。使用できるオプションは、プリンタやプリンタドライバによって異なります。詳しくは、プリンタドライバのマニュアルを参照してください。
- 3 印刷ボタン  をクリックするか、ファイル／印刷 (Windows) またはファイル／プリント (Macintosh) を選択します。プリンタ、印刷範囲、印刷部数、および他のオプションを指定して、「OK」をクリックします。オプションの多くは、他のアプリケーションの設定と同じですが、次の事項に注意してください。
  - 「選択されたページ / 選択されたグラフィック」 (Windows) または「選択したサムネール / グラフィック」 (Macintosh) オプションを選択すると、印刷ダイアログボックスを開く前に選択したページまたはページ内の範囲だけが印刷されます。
  - 「ページ範囲」の「開始」および「終了」で、印刷したいページ範囲を指定します。Windows では、編集／環境設定／オプションで「ページ番号を使用」オプションを選択していると、括弧で囲まれたページの通し番号を入力することができます。たとえば、文書の 1 ページ目に「iii」というページ番号が付いている場合に、そのページを印刷するには (iii) と入力します。
  - 「注釈」を選択すると、ページに付いている注釈のグラフィックが印刷されます。
  - 「用紙サイズに合わせてページを縮小」を選択すると、用紙サイズに合わせて PDF ファイルが縮小されます。
  - 「用紙サイズに合わせてページを拡大」を選択すると、用紙サイズに合わせて PDF ファイルが拡大されます。
  - 「ページの自動回転と中央配置」を選択すると、ページの向きに合わせて PDF ファイルの向きが調整されます。
  - 「画像として印刷」 (Windows) を選択すると、ページがビットマップ画像として印刷されます。Macintosh では、このオプションは「プリント方法」ポップアップメニューで設定します。標準印刷できれいに印刷できない場合は、ページを画像として印刷します。
  - Windows では、「印刷方法」でページを印刷するために使用する PostScript のレベルを指定します。プリンタに合った PostScript のレベルを選択してください。Macintosh では、このオプションで PostScript を使用して印刷するか、ページをビットマップ画像として印刷するかを指定します。

- 「スピードを優先して最適化」を選択すると、必要になった時点でフォントがプリンタにダウンロードされます。このオプションを選択していない場合、Acrobat Reader が出力する順番でページが印刷されます。
- 「2 バイトフォントのダウンロード」(Windows) または「和文フォントをダウンロード」(Macintosh) を選択すると、PostScript プリンタに 2 バイトフォントがダウンロードされます。2 バイトフォントがインストールされていないプリンタで、2 バイトフォントが埋め込まれていない PDF 文書を印刷する場合は、このオプションを選択します。PDF 文書に 2 バイトフォントが埋め込まれている場合は、このオプションを選択しなくても、2 バイトフォントがダウンロードされます。このオプションは、PostScript レベル 2 以上対応のプリンタ、または Type 0 のフォントの拡張をサポートしている PostScript レベル 1 のプリンタで使用できます。
- 「プリンタメモリを節約」を選択すると、印刷前に印刷するページで使用されるすべてのフォントがプリンタにダウンロードされます。このオプションを選択しない場合、印刷ジョブは小さくなりますがプリンタメモリの消費量は増えます。

**注意：**ビットマップフォントが使用されていたり、フォントの埋め込みが文書だけに制限されている場合は、フォントをプリンタにダウンロードすることはできません。このような場合は、置換フォントを使用して印刷されるので印刷結果と画面表示が完全に一致しない場合があります。

「2 バイトフォントのダウンロード」(Windows) または「和文フォントをダウンロード」(Macintosh) を選択していない場合、PDF 文書で使用されているフォントがプリンタにインストールされていないと正しく印刷されません。使用されているフォントがプリンタにインストールされていなくても、よく似たフォントがインストールされている場合は、そのフォントに置き換えられます。プリンタによく似たフォントがない場合は、欧文には Courier が使用されます。

Type 0 のフォント拡張をサポートしていない PostScript レベル 1 プリンタを使用している場合や、「2 バイトフォントのダウンロード」(Windows) または「和文フォントをダウンロード」(Macintosh) を選択してもきれいに印刷できない場合は、PDF 文書をビットマップ画像として印刷します。ただし文書を画像として印刷すると、プリンタのフォントで置き換えるよりも印刷に時間がかかる場合があります。

## Acrobat Reader の環境設定

環境設定では、デフォルトページレイアウトの設定や Web Buy の有効化など、Acrobat Reader をさまざまにカスタマイズすることができます。

**注意：**環境設定では、特定の文書ではなく、システムにインストールした Acrobat Reader アプリケーションをカスタマイズします。

### Acrobat Reader の環境設定を行うには：

編集／環境設定を選択するか、文書ウィンドウのメニューから環境設定を選択します。左のリストから機能を選択し、その機能に対して環境設定オプションを選択します。

**Web Buy** Web から電子ブックを購入したり表示したりするための環境設定です。

**アクセシビリティ** 文書を読み込みやすい色とページレイアウトにカスタマイズするための環境設定です。詳しくは、[7 ページの「アクセシビリティの設定」](#)を参照してください。

**フォーム** フォームの外観と機能を設定する環境設定です。

**ユーザ情報** フォームデータに使用されるユーザ情報についての環境設定です。

**更新** Acrobat Reader 5.0 と Acrobat Web サービスの更新をチェックする回数と、更新の即時チェックを行うかどうかを定義します。

**全画面表示** Acrobat Reader が全画面表示モードのときに、文書の外観とページ切り替えを行う場合についての環境設定です。固有のオプションについては、[10 ページの「全画面表示で文書を読む」](#)を参照してください。

**注釈** 文書の注釈の外観と機能を定義する環境設定です。詳しくは、[22 ページの「注釈の環境設定」](#)を参照してください。

**表示** Acrobat Reader 上のページ表示に関する環境設定です。表示オプションには次のようなものがあります。

- 「デフォルトのページレイアウト」で、最初に文書を開いてスクロールするときのページレイアウトを設定します。1 ページずつ別々に表示する単一ページ、縦に続けて表示する連続、2 ページずつ横に並べて表示する見開きページの 3 種類があります。
- 「単位」で、ステータスバーと情報パレットに表示されるページの測定単位を指定します。
- 「アプリケーション言語」で、Acrobat Reader ユーザーインターフェイスに使用する言語を指定します。この設定を変更した場合は、Acrobat Reader を再起動しないと変更が有効になりません。
- 「グリーキング」で、指定したポイントサイズ以下の文字がグレーの線（つまり、**グリーキング**）で表示され、表示速度が上がります。
- 「ページを端に表示」で、ある種のアプリケーションによって作成された PDF 文書の端の周りに表示される、薄く白い境界線が削除されます。このオプションを選択しない場合、プリンタドライバで指定されているとおりに、PDF 文書のページが白い境界内に印刷されます。
- 「透明グリッドを表示」で、透明オブジェクトの背景にグリッドを表示します。
- 「スムージング」で、文字と白黒の画像の縁がスムーズになり、背景とテキストまたは画像のコントラストが最小限に抑えられます。画面表示（特に大きなサイズのテキスト）の画質が向上する場合があります。スムージング対象として、文字、ラインアート、画像を選択することができます。
- 「CoolType 使用」で、お使いのモニタに合わせて Acrobat Reader のテキスト表示を調整することができます。このオプションを選択する際には、「CoolType の設定」をクリックし、最適なテキスト表示サンプルを選択して、CoolType の基準を設定することも必要です。
- 「デフォルト倍率」で、PDF 文書を開いたときに表示される倍率を指定します。ここで設定した倍率は、文書を開くときの倍率が作成者によって「デフォルト」に設定されている文書だけで使用されます。
- 「描画領域のみを表示する場合の最大倍率」で、「描画領域の幅に合わせる」表示モード、およびアーティクルを表示する最大倍率を指定します。

**オプション** Acrobat Reader、Web ブラウザ、およびその他のアプリケーションの設定を開くときに使用される環境設定を定義します。環境設定オプションには次のようなものがあります。

- 「PDF をブラウザで表示」を選択すると、Web から開いた PDF ファイルがデフォルトのブラウザで表示されます。このオプションを選択しないと、PDF ファイルは別の Acrobat Reader ウィンドウで開きます（Windows のみ）。
- 「Acrobat 起動時にブラウザの設定をチェック」を選択すると、Acrobat Reader を起動するたびに Acrobat Reader と互換性があるかどうかブラウザの設定がチェックされます。

- 「Web 表示用に最適化を許可」を選択すると、Web から PDF ファイルが 1 ページずつ表示されます。このオプションが選択されていないと、表示前に全 PDF がダウンロードされます。
- 「バックグラウンドのダウンロードを許可」を選択すると、ダウンロードした PDF 文書の最初のページが Netscape Navigator と互換性のあるブラウザで表示された後も、Web サイトから引き続き他のページがダウンロードされます。このオプションを選択しない場合、指定したページだけがコンピュータにダウンロードされ、他のページをダウンロードするには再度指定し直さなければなりません。
- 「起動時にスプラッシュスクリーンを表示」を選択すると、Acrobat Reader が起動するたびにスプラッシュスクリーンが表示されます。
- 「承認済みプラグインのみ」を選択すると、購入した暗号化ファイルを開くことができます。ただし、起動時にはサードパーティのプラグインはロードされません。Web Buy 機能を使用する場合に、このオプションが必要になります。このオプションを変更するには、「OK」をクリックして終了してから、Acrobat Reader を再起動します。
- 「ページキャッシュを使用」を選択すると、Acrobat Reader でページを見る前にバッファに次のページが格納されます。これによって、文書の表示ページ切り替えにかかる時間が短くなります。
- 「ページ番号を使用」を選択すると、文書／ページ番号を選択して PDF 文書にページ番号を設定できるようになります。通常このオプションは、PDF のページ番号と印刷するページ番号を対応させる場合に使用します。PDF 文書のページ番号と括弧で囲んだページ通し番号が、ステータスバー、ページ指定ダイアログボックス、ページの削除ダイアログボックス、および印刷ダイアログボックスに表示されます。たとえば、最初のページに「i」という番号が付いている場合は、「i (1 / 10)」と表示されます。このオプションを選択しないと、文書のページ番号情報が無視され、ページ番号がアラビア数字で 1 から付けられます。

**注意：**このオプションを選択していない場合に、Web ブラウザの「戻る」コマンドを使用すると予期しない結果になることがあります。例えば、一部分だけダウンロードした PDF 文書から別の文書にリンクし、次に「戻る」コマンドを使用して前の文書に戻ろうとすると、リンクする前に見ていたページは PDF 文書の 1 ページ目ではないのに、1 ページ目に戻ることがあります。このオプションを選択しておく、Web ブラウザの「戻る」コマンドを使用することによって発生する問題を防ぐことができます。

- 「「ファイルを開く」動作と添付文書の起動を許可」を選択すると、PDF 文書のリンクから別のアプリケーション内のファイルを開こうとする場合に、セキュリティ上のリスクを警告し、必要に応じて処理をキャンセルできるようになります。このオプションを選択しない場合、他のアプリケーション内のファイルへのリンクは無効になります。
- 「文書相互リンクを同じウィンドウに開く」を選択すると、リンクされている PDF 文書も同じウィンドウで開くので、Acrobat Reader で開くウィンドウの数を少なくすることができます。このオプションを選択しないと、リンク先に移動するたびに別のウィンドウが開きます。したがって、ある文書からリンクをクリックして開いた文書は、それぞれ別のウィンドウで開いたままになります。

**注意：**このオプションが選択されている、または選択されていないにかかわらず、設定を無効にするには、Ctrl キー (Windows) または Option キー (Macintosh) を押しながらリンクをクリックします。

- 「すべての警告をリセット」ボタンをクリックすると、無効にしたすべての警告が起動時に再表示されます。

## PDF 文書情報を見る

PDF 文書を表示すると、その文書のタイトル、使用しているフォント、セキュリティ設定などのファイル情報を見ることができます。この情報には文書の作成者によって設定されたものと、Acrobat によって生成されたものがあります。文書の作成者が設定した情報は、ユーザも変更することができます（ただし、文書を変更できないようにファイルにセキュリティが設定されている場合は変更できません）。セキュリティの設定について詳しくは、[26 ページの「ロックされた PDF ファイルと使用許諾ファイル」](#)を参照してください。

**現在開いている文書の情報を見るには：**

ファイル／文書のプロパティ／概要を選択するか、文書ウィンドウのメニューから文書の概要を選択します。

PDF 文書に関する基本的な情報が表示されます。タイトル、サブタイトル、作成者、およびキーワードは文書の作成者によって設定されます。

**注意：**多くの Web サーチエンジンでは、検索結果一覧に文書のタイトルが表示されます。PDF ファイルにタイトルが付いていない場合は、代わりにファイル名が表示されます。ファイルのタイトルは、必ずしもファイル名と同じでないことに注意してください。

「綴じ方」オプションで、「見開きページ」レイアウトでページを表示するときのページの並べ方を指定します。このオプションは、文書内のテキストを読む方向（左から右、または右から左）に合わせてページを並べられるようにするためのものです。右綴じは、アラビア語やヘブライ語、または縦書きの日本語の表示に適しています。この設定はユーザが変更できます。

Acrobat によって生成された情報は変更できません。この情報には、元の文書を作成したアプリケーション、PDF ファイルを作成した Acrobat ユーティリティ、PDF ファイルの作成日時と最後に変更された日時、ファイルがオンライン Web の表示用に最適化されているかどうか、および PDF のバージョンなどが含まれます。Acrobat は PostScript ファイル内のコメントを基に、このような情報を作成します。

フォント情報ダイアログボックスには、元の文書で使用されているフォントとフォントの種類、元のフォントを表示するために Acrobat Reader で使用しているフォント、フォントの種類、およびエンコーディングコードが一覧表示されます。この一覧には、今まで表示されたフォントだけが表示されます。文書全体で使用されているフォントをすべて一覧表示するには、「フォント一覧」をクリックします。

**注意：**このダイアログボックスで、元の文書で使用されているフォントの種類や、Acrobat Reader で同じフォントが使用されているどうかを確認できます。代用のフォントが使用されているときに文書がきれいに表示されない場合は、システムに元のフォントをインストールするか、元のフォントを文書に埋め込んで文書を作成し直すように作成者に依頼してください。

## PDF 文書内の検索

「検索」コマンドを使用して、現在開いている PDF 文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。フォームフィールドの中のテキストを含め、ファイル内の全ページからすべての文字が読み取られて検索されます。

**「検索」コマンドを使用して PDF 文書内を検索するには：**

- 1 検索ボタン  をクリックするか、編集／検索を選択します。
- 2 検索したい文字列をテキストボックスに入力します。

3 必要に応じて、以下の検索オプションを指定します。

- 「完全に一致する単語だけを検索」オプションでは、テキストボックスに入力した単語と完全に一致する単語のみが検索されます。たとえば、テキストボックスに「stick」と入力した場合は、「tick」や「sticky」は無視されます。
- 「大文字と小文字を区別」オプションを選択すると、テキストボックスに入力した欧文文字列と、大文字と小文字の別が一致した、まったく同じ文字列だけが検索されます。
- 「先頭に向かって検索」を選択すると、現在のページから文書の先頭に向かって検索されます。
- 「全角と半角を区別しない」オプションを選択すると、テキストボックスに入力した文字列が半角と全角の区別なく検索されます。ただし、このオプションは日本語版の Acrobat のみで使用することができます。

4 「検索」をクリックします。指定した文字列の検索が開始されます。

**PDF 内で次に出てくる一致文字列を見つけるには：**

次のいずれかを行います。

- 編集／次を検索を選択します。
- 検索ダイアログボックスをもう一度開き、「次を検索」をクリックします（前回入力した文字列が、テキストボックスにそのまま表示されています）。

## 注釈のレビュー

Adobe Acrobat 5.0 の注釈機能を使用すると、PDF 文書の注釈を見ることができます。注釈には、ノート、テキスト、音声、スタンプ、ファイル、グラフィックマークアップ、およびテキストマークアップの形式があります。Acrobat Reader 5.0 では注釈を開いて内容を確認できますが、注釈を編集したり、添付された注釈ファイルを起動したり、サウンド注釈を再生したりすることはできません。ノート注釈は文書から直接印刷することはできません。

**ノート注釈を見るには：**

次のいずれかを行います。

- ノートを開くには、ノートアイコンをダブルクリックします。
- ノートを閉じるには、ノートウィンドウの左上隅にあるクローズボックスをクリックします。

## 注釈の環境設定

注釈のフォントスタイルおよびサイズを設定できます。

**注釈の環境を設定するには：**

- 1 編集／環境設定／注釈を選択します。
- 2 フォントメニューからフォントスタイルを選択します。
- 3 「フォントサイズ」テキストボックスに数値を入力するか、ポップアップメニューからサイズを選択します。
- 4 「OK」をクリックします。

## ムービーやサウンドクリップの再生

ムービーやサウンドを再生するには、お使いのコンピュータのハードウェアの確認と、適切なソフトウェアがインストールされていることが必要です。詳しくは、お使いのシステムのユーザガイドを参照してください。また、システムに次のようなソフトウェアがインストールされていることも必要です。

- Apple QuickTime 3.0 以降または Microsoft Windows Media Player (Windows)
- Apple QuickTime 3.0 以降 (Macintosh)

**注意:** QuickTime バージョン 4.0 以降を推奨します。また、MPEG ファイルを使用する場合には QuickTime 5.0 以降が必要です。

### ムービーまたはサウンドクリップを再生するには：

- 1 手のひらツールを選択します。
- 2 ムービーまたはサウンドクリップの上にカーソルを移動します。カーソルがフィルムストリップの形に変わります。
- 3 クリックすると、クリップの再生が始まります。
- 4 再生を中止するには、再びクリックするか、Esc キーを押します。

**注意:** Acrobat Reader ではサウンド注釈の再生はできません。

## 電子署名付きの文書の表示

Acrobat Reader 5.0 では、電子署名付きの PDF 文書を表示して、印刷できます。ただし、電子署名を検証したり、PDF 文書に電子署名を入れることはできません。電子署名は、テキスト、グラフィック、または手書きの署名として文書内に表示されます。

## フォームの入力

Web ブラウザを使用してフォームを入力している場合は、Acrobat Reader でフォームを入力して Web 上に送信できます。

### フォームに入力するには：

- 1 手のひらツールを選択します。
- 2 入力したいフォームフィールド内をクリックします。I 形のポインタが表示された場合は、テキストを入力します。矢印形のポインタが表示された場合は、ボタン、チェックボックス、オプション、またはリスト内の項目を選択します。
- 3 テキストを入力するか、リスト内の項目、チェックボックス、またはオプションを選択した後で、次のいずれかを行います。
  - フォームフィールドの変更を適用して次のフォームフィールドに移動するには、Tab キーを押します。
  - フォームフィールドの変更を確認して、前のフォームフィールドに移動するには、Shift + Tab キーを押します。
  - フォームフィールドの変更を確認して、現在のフォームフィールドの選択を解除するには、Enter キー (Windows) または Return キー (Macintosh) を押します。

テキストを複数行入力できるフィールドでは、Enter キーまたは Return キーを押すと、同じフィールド内の次の行に移動します。変更を確認して現在のフォームフィールドの選択を解除するには、キーパッドの Enter キーを押します。

- ・ フォームフィールドの変更を取り消して現在のフォームフィールドの選択を解除するには、Esc キーを押します。

全画面表示モードでもう一度 Esc キーを押すと、全画面表示モードが終了します。

**4** 必要な入力が終わったら、「フォームを送信」ボタン（フォームに付いている場合）をクリックします。このボタンには別の名前が付いている場合があります。このボタンをクリックすると、フォームデータは Web または社内のイントラネットを介してデータベースに送信されます。このボタンは、Web ブラウザで PDF 文書を表示しているとき、または Web Capture を使用しているときにだけ使えます。

**ブラウザのウィンドウ内でフォームをクリアするには：**

次のいずれかを行います。

- ・ フォームに「フォームをリセット」ボタンがある場合は、クリックします。
- ・ フォームを送信せずに Acrobat Reader を終了し、再起動します。

「再読み込み」ボタンや「戻る」ボタンをクリックしたり、Web ブラウザでリンクをたどったりしても、フォームはクリアされません。

**重要：**フォームをクリアすると、元には戻せません。

## テキストやグラフィックを別のアプリケーションにコピーおよび貼り付ける方法

PDF 文書のテキストやグラフィックをクリップボードにコピーして、ワードプロセッサなどの別のアプリケーションの文書に貼り付けることができます。選択されたテキストまたはグラフィックがクリップボード上にある場合は、別のアプリケーションに切り替えて、その文書に貼り付けることができます。

**注意：**コピーしたテキストのフォントが、コピー先のシステム上で使えない場合は、元のフォントは保存できません。デフォルトのフォントが代用されます。

**テキストを選択してクリップボードにコピーするには：**

**1** テキスト選択ツール  を選択して、次のいずれかを実行します。

- ・ テキストの 1 行を選択するには、文または語句の最初の文字を選択して最後の文字までドラッグします。
- ・ 複数列の横書きテキストを選択するには、Ctrl キー（Windows）または Option キー（Macintosh）を押したまま文書をドラッグします。
- ・ 複数行の縦書きテキストを選択するには、Ctrl + Alt キー（Windows）または Option + Command キー（Macintosh）を押したまま文書をドラッグします。
- ・ ページ上のすべてのテキストを選択するには、編集 / すべてを選択を選択します。単一ページモードでは、現在のページのすべてのテキストが選択され、連続モードまたは見開きページモードでは、文書内のほとんどのテキストが選択されます。選択されたテキストはハイライト表示されます。テキストの選択を解除するには、選択したテキストの外側をクリックします。

「すべてを選択」コマンドは、文書のすべてのテキストを選択するわけではありません。

**2** 編集 / コピーを選択して、選択したテキストをクリップボードにコピーします。

**3** テキストを表示させるには、ウィンドウ / クリップボードを表示を選択します。（Windows）

Windows 95 では、クリップボードビューアがデフォルトでインストールされていないので、「クリップボードを表示」コマンドを使用するにはクリップボードビューアをインストールする必要があります。クリップボードビューアをインストールするには、スタート/設定/コントロールパネル/アプリケーションの追加と削除を選択し、「Windows ファイル」タブをクリックします。アクセサリをダブルクリックして、クリップボードビューアを選択し、「OK」をクリックします。

#### クリップボードにグラフィックをコピーするには：

- 1 グラフィック選択ツールを選択します。カーソルが十字アイコンに変わります。
- 2 コピーするグラフィックの周囲にボックスをドラッグします。グラフィックの選択を解除するには、選択したグラフィックの外側をクリックします。
- 3 編集/コピーを選択して、選択したグラフィックをクリップボードにコピーします。
- 4 グラフィックを表示させるには、ウィンドウ/クリップボードを表示を選択します。グラフィックは WMF 形式 (Windows)、PICT 形式 (Macintosh)、または XPIXMAP 形式 (UNIX) でコピーされます。

## Web Buy の使用

Web Buy 機能を使用すると、eBook、参考書、テクニカルマニュアル、構造化ビジネスマニュアル、新聞、および定期購読紙などを、PDF ファイルで購入およびダウンロードできます。これらの PDF ファイルは、作者や出版社の著作権を保護するため Adobe の PDF 保護技術でロックされています。Web Buy でファイルのロックを解除すると、お使いのコンピュータや読み取り装置での購読と検索が可能になります。ブラウザ内で、Web ページがポップアップ式で次々と表示され、操作手順が示されます。

### Web Buy の環境設定

電子文書の売り手側（出版社）で、電子文書の使用を特定のコンピュータまたはストレージデバイスに制限する場合があります。保護された PDF を Web から購入する際、どのストレージデバイス情報を自動的に使用するかを、Web Buy 環境設定ダイアログボックスで指定できます。出版社が Web Buy 環境設定ダイアログボックスで指定されている以外の情報を要求した場合、Web ブラウザに手順を示すページが表示されます。

#### Web Buy 環境設定を設定するには：

- 1 編集/環境設定/Web Buy を選択します。
- 2 「Web Buy の使用」が選択されていることを確認します。
- 3 出版社に情報を送る前に、どの警告を表示するかを指定します。
- 4 「その他の識別情報 1」ドロップダウンリストから、ストレージデバイスを選択します。「その他の識別情報 2」から代替ストレージデバイスを選択することもできます。ドロップダウンリストには、お使いのコンピュータから認識されるすべてのデバイスが一覧表示されます。  
**注意：**文書を Zip カートリッジや Jaz ドライブなどのポータブルデバイスにロックしておくと、持ち運びが可能になります。お使いのコンピュータに文書をロックすると、そのコンピュータ以外でその文書を読むことはできなくなります。
- 5 「保存先」でテキストボックスにパスを入力するか、「選択」ボタンをクリックして、購入した文書を保存するデフォルトフォルダを選択します。
- 6 「OK」をクリックします。

## ロックされた PDF ファイルと使用許諾ファイル

ロックされている PDF ファイルをダウンロードしたり開こうとすると、Web Buy により一致する使用許諾ファイルが検索されます。使用許諾ファイルは出版社によって作成され、セキュリティと権限に関するパラメータが指定されています。たとえば、出版社は著作権のある文書に対して、印刷、コピー、またはイメージの抽出を制限することがあります。PDF ファイルのセキュリティに関する設定を表示するには、ドキュメントウィンドウのメニューから文書のセキュリティを選択するか、または、ステータスバーのキー型のアイコンをクリックして、文書のセキュリティを選択します。これらの設定をユーザが変更することはできません。

有効な使用許諾ファイルが見つかると、ロックされていた PDF ファイルが表示されます。該当する使用許諾ファイルが見つからない場合は、ダイアログボックスが表示されます。お使いのコンピュータ内にある使用許諾ファイルの場所を手動で指定するか、またはオンライン状態にして使用許諾ファイルを入手し、文書のロックを解除します。

### 使用許諾ファイルを検索するには：

- 1 「使用許諾の検索」をクリックして使用許諾ファイルの場所を指定します。使用許諾ファイルには、関連する PDF ファイルと同じ名前に、「.rmf」という拡張子が付いています。
- 2 「OK」をクリックします。PDF ファイルのロックが解除され、開かれます。

### 使用許諾をオンラインで取得するには、

- 1 「接続」をクリックします。ブラウザに、ロックされた PDF ファイル内で指定されている URL が表示されます。
- 2 画面に表示される指示に従って、ロックを解除する PDF ファイルの出版社側または供給者とのトランザクションを完了し、適切な使用許諾ファイルをダウンロードします。

## Web Buy プラグインのダウンロード

Adobe Web Buy プラグインをインストールしていない状態でロックされている PDF ファイルをダウンロードしようとする、アドビシステムズ社の Web サイト (www.adobe.com) へのアクセスを促すメッセージが表示されます。エラーメッセージダイアログボックスで「Adobe Online」ボタンをクリックし、Web サイトで表示される指示に従います (バージョン 3.0 以前の Acrobat Reader では Web Buy プラグインがサポートされていません)。

## Web Buy プラグインのアップデート

インストールされている Web Buy プラグインのバージョンより新しい PDF Merchant を使用してロックされている PDF ファイルを開こうとすると、Web Buy のアップデートを促すメッセージが表示されます。この場合、ダイアログボックスが表示されます。「Adobe Online」をクリックし、アドビシステムズ社の Web サイトにアクセスし、Web Buy の最新バージョンをダウンロードします。

現在インストールされている Web Buy のバージョンを確認するには、ヘルプ / Adobe Acrobat プラグインについてを選択して、Web Buy バージョン情報を表示します。現在インストールされているプラグインのリストから Web Buy を選択して、バージョン番号と Web Buy に関する情報を表示します。

## UNIX での Acrobat Reader の使用

一般的に、Acrobat Reader の機能は、UNIX システム上で使用する場合でも、他のシステムの場合と同様に動作します。ただし、Acrobat Reader 用の特定の UNIX コマンドを理解する必要のある機能も多少あります。Acrobat Reader コマンドラインオプション (UNIX) のすべてを一覧表示するには、`-help` オプション付きで Acrobat Reader を起動します。たとえば、次のように入力します。

```
acroread -help
```

### デフォルト表示の設定

UNIX で最初に Acrobat Reader を開くと、`.acrorc` という環境設定ファイルが `$HOME` ディレクトリに作成されます。バージョン 5.0 より前のバージョンの Acrobat Reader を起動したことがある場合、Acrobat Reader 5.0 を起動する前に、`$HOME/.acrorc` を削除する必要があります。Acrobat Reader 5.0 を起動すると、Acrobat Reader 5.0 の推奨設定で新しい `.acrorc` ファイルが作成されます。

**注意：**2 バイトテキスト対応の UNIX オペレーティングシステムに Acrobat Reader をインストールしている場合、使用できない Acrobat Reader 機能があります。詳しくは、Acrobat Reader の ReadMe ファイルを参照してください。

### リソースのカスタマイズ

Acrobat Reader を起動すると、標準 X Window システムリソースファイル (`~/Xdefaults`) からリソースの検索が行われます。そして、検出されたすべてのリソースが使用され、適切なセットアップが行われます。同じリソースが複数回見つかった場合、一番最後に検出された値が使用されます。リソースファイルを編集して、Acrobat Reader をカスタマイズできます。変更内容を有効にするには、Window システムを再起動する必要があります。

ここでは、`Xdefaults` ファイルで変更できる一般的な Acrobat Reader リソースについて説明します。

- [27 ページの「プラグインの保存場所」](#)
- [28 ページの「Acrobat Reader の複数起動」](#)
- [28 ページの「しおりに使用するフォント」](#)

### プラグインの保存場所

Acrobat Reader が起動すると、ディレクトリ `$ACRO_INSTALL_DIR/$ACRO_CONFIG/plugin_ins` からプラグインが検索されます。`systemPlugInPath` ラベルを変更して、新しいデフォルトディレクトリを指定できます。`systemPlugInPath` ラベルは、Acrobat Reader のすべてのユーザが使用するプラグインの保存場所を指定します。

```
systemPlugInPath /net/Acrobat/Sun_OS4/doc_dept/plugin_ins
```

Acrobat Reader の起動時に、ユーザ専用のプラグインを指定できます。デフォルトでは、ユーザ専用のプラグインは `$HOME/plugin_ins` ディレクトリから検索されます。`*userPlugInPath` ラベルを変更することで、ユーザ専用のプラグインに対して新しいデフォルトディレクトリを指定できます。たとえば、次のように編集します。

```
userPlugInPath $HOME/Acrobat/plugin_ins
```

## Acrobat Reader の複数起動

PDF ファイルを開くたびに新しい Acrobat Reader アプリケーションを起動する場合、userFrontEndProgram リソースを FALSE に設定します。デフォルトでは、userFrontEndProgram は TRUE に設定され、既に開いている Acrobat Reader アプリケーションを使用して、新しい PDF ファイルを表示します。

## Acrobat Reader からフォントへアクセスする方法

PDF ファイル内にフォントが埋め込まれているのではなくフォントが参照されている場合、ファイルを開くシステム上でそのフォントが検索され、システム上のフォントを使用してテキストが表示されます。Acrobat Reader 起動スクリプトまたはユーザ構成ファイル内の PSRESOURCEPATH 変数を設定して、Acrobat Reader がインストールされている Type 1 フォントにアクセスするように設定できます。起動スクリプトを編集すると、通常、システム管理者によって、Acrobat Reader のコピーにアクセスするすべてのユーザにそのフォントへのアクセス権が与えられます。ユーザ構成ファイルを編集すると、フォントへのアクセス権が与えられます。

PSRESOURCEPATH 変数は、指定場所から UNIX PostScript リソース (.upr) ファイルを検索します。.upr ファイルは Type1 フォントがインストールされたときに作成されます。Adobe Illustrator<sup>®</sup> または Adobe Photoshop<sup>®</sup> をインストールしている場合、PSRESOURCEPATH 変数は個々のユーザ用に設定されていて、Acrobat Reader によって使用されます。

### システム全体でフォントにアクセスにできるように設定するには：

- 1 Acrobat5/bin/acroread をテキストエディタで開きます。
- 2 次のコマンドを入力します。

```
PSRESOURCEPATH=< フォントが置かれているディレクトリ >::
```

- 3 Acrobat Reader を再起動します。

### ユーザレベルでフォントにアクセスできるように設定するには：

- 1 ユーザ構成ファイルをテキストエディタで開きます。
- 2 PSRESOURCEPATH 環境変数を次のように設定します。

```
PSRESOURCEPATH=< フォントが置かれているディレクトリ >::
```

- 3 Acrobat Reader を再起動します。

## しおりに使用するフォント

しおりに使用するフォントのデフォルトサイズを変更する場合、bookmarkFontSize の値を変更します。フォントサイズはポイント単位になっています。フォントの種類を変更したい場合は、bookmarkFontName の値を変更します。たとえば、次のように指定します。

```
bookmarkFontSize 10
```

```
bookmarkFontName Courier
```

## 環境設定

UNIX では、.Xdefaults ファイルでリソースを設定できます。システムレベルまたはユーザレベルの両方で、Acrobat Reader から複数のフォントにアクセスできるように設定することもできます。詳しくは、[28 ページの「Acrobat Reader からフォントへアクセスする方法」](#)を参照してください。

### Web ブラウザのプラグインをインストールするには (UNIX) :

<Acrobat Reader のインストールディレクトリ>/Browsers/netscape を実行します。

### コマンドラインを使用した PDF 文書の印刷 (UNIX)

ファイル／印刷を選択して Acrobat Reader のユーザインタフェースから直接 PDF 文書を印刷する方法の他に、コマンドラインから PDF ファイルを印刷することもできます。ファイル **sample.pdf** をデフォルトプリンタに出力するには、次のように入力します。

```
cat sample.pdf | acroread -toPostScript | lp
```

**注意:** PDF ファイルが 文書を開くために必要なパスワードで保護されていて印刷が許可されていない場合、このファイルをコマンドラインから印刷できません。

コマンドラインからプリントジョブを制御する複数のオプションがあります。Acrobat Reader で使用できるオプションは次のとおりです。

### 言語レベル 2 PostScript ファイルを作成するには :

```
-level2
```

### 別の名前の PostScript ファイルに PDF ファイルを出力するには :

```
-pairs <PDF ファイル名> <PostScript ファイル名>
```

たとえば、**sample.pdf** を **test.ps** に出力する場合、次のような構文になります。

```
acroread -toPostScript -pairs sample.pdf test.ps
```

## 日中韓フォントの表示と印刷

Acrobat Reader 5.0 では、適切な言語キットをインストールしていると、日本語、韓国語、中国語 (繁体)、および中国語 (簡体) の PDF 文書を表示および印刷できます。

日中韓言語をサポートしないオペレーティングシステムで作業している場合に、これらの言語のテキストを含む PDF ファイルを表示または印刷するには、アドビシステムズ社の Web サイト (<http://www.adobe.co.jp>) から日中韓言語のフォントパックをダウンロードしてインストールする必要があります。中国語 (繁体)、中国語 (簡体)、日本語、および韓国語のフォントを入手できます。

## オンラインユーザガイドの印刷方法

オンラインユーザガイドのページはオンライン閲覧用に最適化されているため、1 枚の用紙の片面に 2 ページずつ印刷するのに適しています。

### 片面に 2 ページずつ印刷するには :

- 1 ファイル／ページ設定 (Windows)、またはファイル／プリント (Macintosh) を選択します。
- 2 プラットフォームごとに次の操作を行います。
  - Windows では、「プロパティ」をクリックし、「用紙」タブのレイアウトで「2 ページ」を選択します。次に、「OK」をクリックしてプリンタの設定ダイアログボックスに戻り、「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
  - Macintosh では、「レイアウト」ドロップダウンリストで「2 ページ / 枚」を選択し、「OK」をクリックします。

**注意:** Windows で手順 2 を実行できない場合は、Adobe PostScript プリンタドライバを使用していない可能性があります。

**3** ファイル／印刷 (Windows) またはファイル／プリント (Macintosh) を選択します。

**4** 印刷するページ範囲を指定します。

**5** 「OK」 (Windows) または「プリント」 (Macintosh) をクリックします。

# Windows ショートカット

---

## ツール選択

ツール	キーストローク
手のひら	H
テキスト選択	V
ズームイン	Z
ズームイン、ズームアウトツールの切り替え	Shift + Z
テキスト選択、範囲選択、表／書式付きテキスト選択ツールの切り替え	Shift + V
グラフィック選択	G

## ナビゲーション

結果	キーストローク
前の画面	Page Up
次の画面	Page Down
一時選択用手のひらツール	スペースバー
開始ページ	Home
最終ページ	End
前ページ	左向き矢印
次ページ	右向き矢印
スクロールアップ	上向き矢印
スクロールダウン	下向き矢印
全画面表示の切り替え	Ctrl + L
ページ指定	Ctrl + N
前のページ	左向き矢印
前の表示に移動	Alt + 左向き矢印
次の表示に移動	Alt + 右向き矢印
次のページ	右向き矢印
前の文書に移動	Alt + Shift + 左向き矢印
次の文書に移動	Alt + Shift + 右向き矢印
開始ページ	Ctrl + Shift + 上向き矢印
最終ページ	Ctrl + Shift + 下向き矢印
ナビゲーションパレットウィンドウ、タブ付きダイアログでの次のタブへの移動、ドキュメントウィンドウの切り替え	Ctrl + Tab

## ファンクションキー

結果	キーストローク
ヘルプ	F1
しおりの表示／非表示	F5
ナビゲーションパレットウィンドウの表示／非表示	F6

結果	キーストローク
ツールバーの表示／非表示	F8
ナビゲーションパレットウィンドウとドキュメントウィンドウの切り替え	Shift + F6
ドキュメントウィンドウの切り替え	Ctrl + F6
サムネールの表示／非表示	F4
メニューバーの表示／非表示	F9

## 文書の編集

結果	キーストローク
すべてを選択	Ctrl + A
コピー	Ctrl + C
倍率指定	Ctrl + M
開く	Ctrl + O
印刷	Ctrl + P
終了	Ctrl + Q
貼り付け	Ctrl + V
閉じる	Ctrl + W
切り取り	Ctrl + X
元に戻す	Ctrl + Z
全体表示	Ctrl + 0
実際の大きさ	Ctrl + 1
幅に合わせる	Ctrl + 2
描画領域の幅に合わせる	Ctrl + 3
ズームイン	Ctrl + +
ズームアウト	Ctrl + -
ズームインツールを一時的に選択	Ctrl + スペースバー
スクリプトの切り替え	Ctrl + F1
すべてを選択解除	Ctrl + Shift + A
ページ設定	Ctrl + Shift + P
複製を保存	Ctrl + Shift + S
色の校正	Ctrl + Y
右回転	Ctrl + Shift + +
左回転	Ctrl + Shift + -

## 検索

結果	キーストローク
検索	Ctrl + F
次を検索	Ctrl + G

## 文書情報および環境設定

結果	キーストローク
文書の概要ダイアログボックス	Ctrl + D
環境設定ダイアログボックス	Ctrl + K

## ウィンドウ

結果	キーストローク
重ねて表示	Ctrl + Shift + J
上下に並べて表示	Ctrl + Shift + K
左右に並べて表示	Ctrl + Shift + L
すべて閉じる	Ctrl + Alt + W

# Macintosh ショートカット

---

## ツール選択

ツール	キーストローク
手のひら	H
テキスト選択	V
ズームイン	Z
ズームイン、ズームアウトツールの切り替え	Shift + Z
テキスト選択、範囲選択、表／書式付きテキスト選択ツールの切り替え	Shift + V
グラフィック選択	G

## ナビゲーション

結果	キーストローク
前の画面	Page Up
次の画面	Page Down
一時選択用手のひらツール	スペースバー
開始ページ	Home
最終ページ	End
前ページ	左向き矢印
次ページ	右向き矢印
スクロールアップ	上向き矢印
スクロールダウン	下向き矢印
全画面表示の切り替え	Command + L
ページ指定	Command + N
前のページ	左向き矢印
前の表示に移動	Command + 左向き矢印
次の表示に移動	Command + 右向き矢印
次のページ	右向き矢印
前の文書に移動	Option + Shift + 左向き矢印
次の文書に移動	Option + Shift + 右向き矢印
開始ページ	Shift + Command + 上向き矢印
最終ページ	Shift + Command + 下向き矢印
ナビゲーションパレットウィンドウ、タブ付きダイアログでの次のタブへの移動、ドキュメントウィンドウの切り替え	Command + Tab

## ファンクションキー

結果	キーストローク
ヘルプ	F1
しおりを表示/隠す	F5

結果	キーストローク
ナビゲーションパレットウィンドウの表示／非表示	F6
ツールバーを表示／隠す	F8
検索／次を検索	Command + F、Command + G
ポップアップメニュー	Control + クリック
ナビゲーションパレットウィンドウ内で、文書表示へ移動し、ナビゲーションパレットウィンドウを開いたままにする	Shift + F6
サムネールを表示／隠す	F4
メニューバーを表示／隠す	F9

## 文書の編集

結果	キーストローク
すべてを選択	Command + A
コピー	Command + C
倍率指定	Command + M
開く	Command + O
プリント	Command + P
終了	Command + Q
ペースト	Command + V
閉じる	Command + W
カット	Command + X
元に戻す	Command + Z
全体表示	Command + 0
実際の大きさ	Command + 1
幅に合わせる	Command + 2
描画領域の幅に合わせる	Command + 3
ズームイン	Command + +
ズームアウト	Command + -

結果	キーストローク
一時的にズームイン	Command + スペースバー
すべてを選択解除	Shift + Command + A
ページ設定	Shift + Command + P
複製を保存	Shift + Command + S
右回転	Shift + Command + +
左回転	Shift + Command + -

## 検索

結果	キーストローク
検索	Command + F
次を検索	Command + G

## 文書の情報および環境設定

結果	キーストローク
文書の概要ダイアログボックス	Command + D
環境設定ダイアログボックス	Command + K

## ウィンドウ

結果	キーストローク
重ねて表示	Shift + Command + J
上下に並べて表示	Shift + Command + K
左右に並べて表示	Shift + Command + L
すべて閉じる	Option + Command + W

# 索引

## A

Acrobat Reader、ヘルパーアプリケーション [16](#)

## M

Microsoft Internet Explorer  
Tab キーによるナビゲーション [5](#)  
アクセシビリティ [5](#)

## N

nppdf32.dll file、インストール [16](#)

## P

Page Down/Up ボタン [12](#)  
PDF 文書  
語句の検索 [21](#)  
情報を見る [21](#)  
ロック [26](#)  
PDFViewer プラグイン、インストール [16](#)  
PICT 形式 [25](#)

## W

Web Buy  
環境設定 [18](#), [25](#)  
選択、その他の識別子 [25](#)  
その他の識別子 [25](#)  
プラグインの更新 [26](#)  
プラグインのダウンロード [26](#)  
Web からのダウンロード、ページ単位 [16](#)

Web 表示用に最適化、有効 [16](#)

Web ブラウザ  
PDF 文書の表示 [15](#)  
インストール [16](#)  
検索 [16](#)  
設定 [16](#)

WMF 形式 [25](#)

## X

Xdefaults [27](#)  
XPIXPAP 形式 [25](#)

## あ

アーティクル、移動 [14](#)  
アクセシビリティ  
Microsoft Internet Explorer [5](#)  
カスタムカラースキーム [7](#)  
環境設定 [7](#), [18](#)  
構造化 PDF ファイル [4](#)  
スクリーンリーダー [5](#)  
スクリーンリーダーのオプション [7](#)  
ダイアログボックスのキーストローク [6](#)  
ツールバーのキーストローク [6](#)  
ナビゲーションパレットウィンドウのキーストローク [6](#)  
フォーカス領域 [5](#)  
フォーカス領域の変更 [5](#)  
フローティングパレットのキーストローク [6](#)  
文書ウィンドウのキーストローク [5](#)  
メニューバーのキーストローク [5](#)

## い

一般の環境設定、設定 [18](#)

今まで表示した画面、逆戻り [14](#)

印刷

UNIX [29](#)

一般的なオプション [17](#)

一般的なページ設定 [17](#)

一般、2バイトフォントのダウンロード  
[18](#)

一般、画像として印刷 [18](#)

一般、置換フォント [18](#)

印刷ボタン [17](#)

## お

オプションの環境設定

Acrobat Reader 起動時にブラウザの設定  
定をチェック [19](#)

PDF をブラウザで表示 [19](#)

Web 表示用に最適化を許可 [20](#)

起動時にスプラッシュスクリーンを表示  
[20](#)

承認済みプラグインのみ [20](#)

すべての警告をリセット [20](#)

バックグラウンドのダウンロードを許可  
[20](#)

ファイルを開く動作 [20](#)

文書相互リンクを同じウィンドウに開く  
[20](#)

ページキャッシュを使用 [20](#)

ページ番号を使用 [20](#)

オンラインヘルプ [1](#)

## か

回転ツール [10](#)

概要、文書情報 [21](#)

カラースキーム、アクセシビリティ [7](#)

環境設定

アクセシビリティ [7](#)

一般 [18](#)

全画面表示 [11](#)

## く

グラフィック選択ツール [25](#)

クリア、フォーム [24](#)

クリップボードを表示コマンド [24](#)

## け

現在のしおりの検索コマンド [13](#)

検索オプション

大文字と小文字を区別 [22](#)

完全に一致する単語だけを検索 [22](#)

全角と半角を区別する [22](#)

検索結果

Web サイト内の PDF 文書 [15](#)

文書のタイトルまたはファイル名 [21](#)

検索コマンド [21](#)

検索ボタン [21](#)

検索、Web ブラウザ [16](#)

## こ

更新の環境設定 [19](#)

コピー

グラフィックをクリップボードに [25](#)

テキストの選択 [24](#)

## さ

最後のページボタン [12](#)

最初のページボタン [12](#)

サイズ変更

拡大表示と縮小表示 [8](#)

サムネールの使用 [9](#)

ページ [9](#)

ページ表示 [9](#)

サウンド、システム要件 [23](#)

サムネールパレット、開く [9](#)

サムネール、ビューのサイズ変更 [9](#)

## し

しおり

ジャンプ後に閉じるコマンド [13](#)

ナビゲーション [13](#)

パレット [13](#)

フォント (UNIX) [28](#)

レベル [13](#)

システム要件、ムービーとサウンドファイル [23](#)

実際の大きさコマンド [9](#)

指定ページへの移動 [12](#)

次ページボタン [12](#)

ジャンプ後に閉じるコマンド、しおり [13](#)

使用許諾ファイル [26](#)

## す

ズームツール [9](#)

スクリーンリーダー、配信オプション [7](#)

進むボタン [14](#)

すべてを選択コマンド [10, 24](#)

## せ

全画面表示

概要 [8](#)

環境設定 [10, 11, 19](#)

全画面表示コマンド [10](#)

全体表示ボタン [9](#)

選択とコピー、テキスト [24](#)

先頭に向かって検索 [22](#)

## た

ダイアログボックスのキーストローク [6](#)

単一ページレイアウト [10](#)

## ち

注釈

環境設定 [22](#)

レビュー [22](#)

## つ

ツールバーのキーストローク [6](#)

次の画面ボタン [14](#)

次のハイライト表示に移動/前のハイライト表示に移動ボタン [15](#)

次を検索コマンド [21](#)

## て

テキスト選択ツール [24](#)

手のひらツール [8, 14](#)

電子署名 [23](#)

## な

ナビゲーション構造

アークティクル [13](#)

サムネール [13](#)

しおり [13](#)

リンク [13](#)

ナビゲーションパレットウィンドウ、キーストローク [6](#)

## に

日中韓フォント

ダウンロード [18](#)

ビットマップ画像として印刷 [18](#)

## は

倍率

上げる [8](#)

下げる [9](#)

幅に合わせるボタン [9](#)

## ひ

ビューア、複数 (UNIX) [28](#)

描画領域の幅に合わせるコマンド [9](#)

表示の環境設定

CoolType 使用 [19](#)

アプリケーション言語 [19](#)

スムージング [19](#)

単位 [19](#)

デフォルトのページレイアウト [19](#)

デフォルト倍率 [19](#)

透明グリッドを表示 [19](#)

描画領域のみを表示する場合の最大倍率  
[19](#)

ページを端に表示 [19](#)

表示を左に回転ボタン [10](#)

表示を右に回転ボタン [10](#)

表示、PDF 文書

Web 上 [16](#)

倍率 [8](#)

開くコマンド [8](#)

開くボタン [8](#)

開く、PDF ファイル [8](#)

## ふ

フォーカス領域、変更 [5](#)

フォームの環境設定 [18](#)

フォーム、ブラウザ内でクリア [24](#)

フォント

UNIX [28](#)

情報 [21](#)

プラグイン、UNIX [27](#)

フローティングパレットのキーストローク  
[6](#)

文書ウィンドウ、キーストローク [5](#)

文書情報 [21](#)

文書のプロパティ、概要 [21](#)

文書／最後のページコマンド [12](#)

文書／最初のページコマンド [12](#)

## へ

ページ指定コマンド [12](#)

ページ単位のダウンロード [16](#)

ページの回転 [10](#)

ページの向き [9](#)

ページ番号使用オプション [12](#)

ページレイアウト

設定 [9, 10](#)

単一ページ [9](#)

見開きページ [9](#)

連続 [9](#)

ヘルパーアプリケーション、Acrobat  
Reader [16](#)

ヘルプ [1](#)

## ま

前の画面ボタン [14](#)

前ページボタン [12](#)

## み

見開きページレイアウト [10](#)

## む

ムービー

再生 [23](#)

システム要件 [23](#)

向き、変更 [10](#)

## め

メニューバー、キーストロークによるアク  
セス [5](#)

**も**

戻るボタン [14](#)

**ゆ**

ユーザ情報の環境設定 [18](#)

**よ**

読む、アーティクル [14](#)

**り**

リソース、UNIX [27](#)

リンク、移動 [14](#)

**れ**

連続レイアウト [10](#)

## 法律上の注意

---

### 著作権情報

© 2001 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe® Acrobat® Reader™ 5.0 ユーザガイド (Windows® / Macintosh 版)

本マニュアルおよびその中に記載されているソフトウェアは、エンドユーザ使用許諾契約にもとづいて提供されるものであり、当該エンドユーザ使用許諾契約の契約条件に従ってのみ、使用または複製することが可能となるものです。本マニュアルに記載される内容は、あくまでも参照用としてのみ使用されること、また、なんら予告なしに変更されることを条件として、提供されるものであり、従って、当該情報が、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の責務として解釈されることがあってはなりません。アドビシステムズ社は、本マニュアルにおけるいかなる誤謬または不正確な記述に対しても、なんら責を負うものではありません。当該エンドユーザ使用許諾契約により許可されている場合を除き、本マニュアルのいかなる部分といえども、アドビシステムズ社の書面による事前の許可なしに、電子的、機械的、録音、その他いかなる形式・手段であれ、複製、検索システムへの保存、または伝送を行うことはできません。

新しいアートを創作するためにテンプレートとして取り込もうとする既存のアートワークまたは画像は、著作権法により保護され得るものであることをご留意ください。当該アートワークまたは画像を新しいアートワークに許可なく取り込んだ場合、著作権者の権利を侵害することになります。従って、著作権者から必要なすべての許可を必ず取りつけてください。

例として使用されている会社名は、実在の会社・組織を示すものではありません。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、Acrobat Catalog、Acrobat Distiller、Acrobat Exchange、Acrobat Reader、Acrobat Search、Adobe Type Manager、ATM、FrameMaker、Illustrator、ImageReady、PageMaker、Photoshop、および PostScript は、アドビシステムズ社の米国および/または各国での商標または登録商標です。ActiveX、Microsoft、Windows、および Windows NT は、マイクロソフト社の米国および/または各国での商標または登録商標です。Apple、ColorSync、Mac、Macintosh、Power Macintosh、QuickTime、および TrueType は Apple Computer, Inc. の米国および各国での登録商標です。QuickTime および QuickTime ロゴは商標であり、ライセンス許可を受けて使用しています。Pentium は Intel Corporation の登録商標です。Java、Java Applet、および JavaScript は米国および各国での Sun Microsystems, Inc. の商標あるいは登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

Apple Information Access Toolkit ソフトウェアが付属しています。このソフトウェアは一部、Independent JPEG の作品に基づいています。THE PROXIMITY/MERRIAM WEBSTER DATABASE © 1984, 1990 Merriam-Webster Inc. © 1984, 1990, 1993 - All rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /FRANKLIN ELECTRONIC PUBLISHERS INC.-DATABASE © 1994 Franklin Electronic Publishers Inc. © 1994, 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY / MERRIAM WEBSTER INC./ FRANKLIN ELECTRONIC PUBLISHERS INC. DATABASE © 1990/1994 Merriam-Webster Inc./Franklin Electronic Publishers Inc. © 1994, 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /WILLIAM COLLINS SONS & CO. LTD. DATABASE © 1984, 1990 William Collins Sons & Co. Ltd. © 1988, 1990, 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /Dr. LLUIS DE YZAGUIRRE I MAURA DATABASE © 1991 Dr, Lluís de Yzaguirre i Maura © 1991 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY / MUNKSGAARD INTERNATIONAL PUBLISHERS LTD. DATABASE © 1990 Munksgaard International Publishers Ltd. © 1990 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /VAN DALE LEXICOGRAFIE BV DATABASE © 1990, 1995, 1997 Van Dale Lexicografie bv © 1990, 1996, 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /IDE A.S. DATABASE © 1989, 1990 IDE a.s. © 1989, 1990 - All rights Reserved Proximity Technology Inc THE PROXIMITY /HACHETTE DATABASE © 1992 Hachette © 1992 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /EDITIONS FERNAND NATHAN DATABASE © 1984 Editions Fernand Nathan © 1989 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY /TEXT & SATZ DATENTECHNIK DATABASE © 1991 Text & Satz Datentechnik © 1991 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/ BERTLESMANN LEXICON VERLANG DATABASE © 1997 Bertlesmann Lexicon Verlang © 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/WILLIAM COLLINGS SONS & CO. LTD./BERTLESMANN LEXICON VERLANG DATABASE © 1986/1997 William Collins Sons & Co. Ltd./ Bertlsmann Lexicon Verlang © 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/ S. FISCHER VERLAG DATABASE © 1983 S. Fischer Verlag © 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/ZANICHELLI DATABASE © 1989 Zanichelli © 1989 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/MORPHOLOGIC INC. DATABASE © 1997 Morphologic Inc. © 1997 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/ RUSSICON COMPANY LTD. DATABASE © 1993-1995 Russicon Company Ltd. © 1995 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/ESPASSA-CALPE DATABASE © 1990 Espassa-Calpe © 1990 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc. THE PROXIMITY/C.A. STROMBERG AB DATABASE © 1989 C.A. Stromberg AB © 1989 - All Rights Reserved Proximity Technology Inc

TWAIN Toolkit は現状有姿で提供されています。TWAIN Toolkit の開発者およびディストリビュータは、商品性の黙示保証、第三者の権利に対する非侵害性保証および特定目的への適合性への保証を含み、それに限定されないいかなる明示・黙示・制定法上の保証も行いません。また、開発業者、ディストリビュータいずれも、TWAIN Toolkit の複製、修正、提供、またはその他使用の結果として生じる、直接的、間接的、特別な、付随的、派生的損害に対しても、責任を負いません。

Adobe Acrobat の機能の一部に Verity, Inc. にライセンスされているテクノロジーが使用されています。

本製品は、米国特許番号 4,558,302 のライセンスが付与された LZW アルゴリズムを使用しています。

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA

米国政府機関のエンドユーザへの制限：本ソフトウェアおよびマニュアルは、48C.F.R.2.101 によって規定されている「商品」であり、48C.F.R.12.212 または 48C.F.R.227.7202 で使用されている「商業用コンピュータソフトウェア」および「商業用コンピュータソフトウェアマニュアル」によって構成されています。商業用コンピュータソフトウェアおよび商業用コンピュータソフトウェアマニュアルは、48C.F.R.12.212 または 48C.F.R.227.7202-1 乃至 227.7202-4 に従い、米国政府機関のエンドユーザに（A）商品のみとして、および（B）本ソフトウェアに関するアドビシステムズ社の標準の契約書に従って、他のすべてのエンドユーザに付与される権利のみ使用許諾されます。明示されていない権利は、米国著作権法によって保護されています。